

# 海外での武力行使 歯止めなし

## 中東想定し日米共同訓練

### 参院特別委 井上議員が追及

日本共産党の井上哲士議員は30日の参院安保法制特別委員会で、戦争法案を先取りする形で、自衛隊と米軍が海外での武力行使を想定した実戦的な共同訓練を行っていることを明らかにしました。井上氏は「歯止めなき海外での武力行使につながる」として法案を廃案にするよう主張しました。



質問する井上哲士議員＝30日、参院安保法制特委

↓関連の面

共同訓練は、昨年1月か2月にかけて米カリフォルニア州にある米陸軍戦闘訓練センターで行われたもの。陸上自衛隊(約180人)がアジアで初めて参加し、96式装甲車や74式戦車まで持ち込んで、イラク、アフガニスタンへの派兵を繰り返してきた米陸軍と共同の軍事作戦ができるようにするためのものでは「ないか」とたずねました。井上氏は、共同訓練について防衛省に情報開示を求めたものの、黒塗り資料しか示されていないとして、内容の相互運用性の向上を目指すことを明らかにするよう要求しました。

共同訓練は、昨年1月か2月にかけて米カリフォルニア州にある米陸軍戦闘訓練センターで行われたもの。陸上自衛隊(約180人)がアジアで初めて参加し、96式装甲車や74式戦車まで持ち込んで、イラク、アフガニスタンへの派兵を繰り返してきた米陸軍と共同の軍事作戦ができるようにするためのものでは「ないか」とたずねました。井上氏は、共同訓練について防衛省に情報開示を求めたものの、黒塗り資料しか示されていないとして、内容の相互運用性の向上を目指すことを明らかにするよう要求しました。

共同訓練は、昨年1月か2月にかけて米カリフォルニア州にある米陸軍戦闘訓練センターで行われたもの。陸上自衛隊(約180人)がアジアで初めて参加し、96式装甲車や74式戦車まで持ち込んで、イラク、アフガニスタンへの派兵を繰り返してきた米陸軍と共同の軍事作戦ができるようにするためのものでは「ないか」とたずねました。井上氏は、共同訓練について防衛省に情報開示を求めたものの、黒塗り資料しか示されていないとして、内容の相互運用性の向上を目指すことを明らかにするよう要求しました。

## 「必要最小限」の規定困難 新3要件で首相答弁

安倍首相は30日の参院安保法制特別委員会、集団的自衛権の行使を容認した「武力行使の新3要件」の下に「例外的に可能とする」「必要最小限の武力行使」について、「法律に規定するのは困難」である。井上氏が「ホルムズ海峡での機雷掃海に限定する」と述べた。

安倍首相は繰り返して、「新3要件の下でも海外派兵は一般に禁じられている。例外として認められるのはホルムズ海峡での機雷掃海だ」と述べてきました。井上氏が「ホルムズ海峡での機雷掃海に限定する」と述べた。

「この法的根拠をただしたのに対し、首相は「新3要件の下で」とのような場合、どのような武力行使が許されるのかは、事態の個別的事実状況に照らして総合的に判断する必要がある」と述べた。井上氏は「必要最小限の武力行使」が定義できないと述べ、自衛隊「合憲」論の根拠まで掘り戻すことになり。

政府は自衛隊「合憲」論の唯一の根拠として、自衛隊の「必要最小限度の実力」ということをあげてきました。「必要最小限の武力行使」が定義できないと述べ、自衛隊「合憲」論の根拠まで掘り戻すことになり。



米カリフォルニア州の米陸軍戦闘訓練センターでの日米共同演習で使用された陸上自衛隊74式戦車＝2014年1月15日、米陸軍ウェブサイトから

は30日の理事懇談会で、磯崎首相補佐官を3日の委員会に参考人として招致することを決めました。磯崎氏は、戦争法案に関し「法的安定性なんて関係ない」と発言。野党側は同特別委員会に参考人として招致することを求めていました。

7/31  
赤旗

# 海外派兵の一般的禁止

## 法律に根拠なし

「総理の頭の中はごつてもいい。法律にどう定められているかどうかだ。日記しているかどうかだ。日記していないことを認めました。」

では、「必要と判断」するのは誰なのか。井上氏は「新3要件は法律にすべて明記されている。対応の判断は政府として状況を鑑みて判断する」と答弁。時の政府が「新3要件」に合致し、「必要」と判断すれば、海外派兵は無限定に拡大できるとを認めました。

井上氏は、戦争法案を取りまとめたきた磯崎陽輔首相補佐官が「法的安定性なんて関係ない」「国際情勢の変化に伴って必要最小限度の内容が変わる」と発言し

たごにもふれ、「情勢が変われば『例外』も拡大する。将来の首相が例外を拡大しないという担保はどこにあるのか」と批判しました。また、法案で、集団的自衛権を発動する「存立危機事態」の「速やかな終結」を規定していることに関して、

阪田雅裕・元内閣法制局長官が衆院特別委員会での参事人質疑で「速やかな終結とは戦争に勝つということだ。最大限の実力行使をしなければなくなる」と発言したことを紹介。集団的自衛権を行使すれば、政府が武力行使の合憲性の根拠としている「自衛のための必要最小限度」の意味が大きく変わると批判しました。

井上氏は、戦争法案をめぐり「必要と判断される限度においてなされなければなら

ない」とした規定しかあげられず、法案のごとにも明記していないことを認めました。

たごにもふれ、「情勢が変われば『例外』も拡大する。将来の首相が例外を拡大しないという担保はどこにあるのか」と批判しました。

また、法案で、集団的自衛権を発動する「存立危機事態」の「速やかな終結」を規定していることに関して、

阪田雅裕・元内閣法制局長官が衆院特別委員会での参事人質疑で「速やかな終結とは戦争に勝つということだ。最大限の実力行使をしなければなくなる」と発言したことを紹介。集団的自衛権を行使すれば、政府が武力行使の合憲性の根拠としている「自衛のための必要最小限度」の意味が大きく変わると批判しました。

井上氏は、戦争法案をめぐり「必要と判断される限度においてなされなければなら

### 参院特別委で井上氏追及

#### 中東の町模した訓練場で

#### 演習の実態



監閲する井上哲士議員。30日、参院安保法制特別委

「海外派兵の拡大は単なる法理上の問題ではない。井上氏は、戦争法案を先取りして自衛隊と米軍が中東での戦闘作戦を想定した訓練を行っている実態を明らかにしました。」

訓練が行われた米カリフォルニア州の米陸軍戦闘訓練センターにあるナシヨナル・トレーニング・センターは、70キロ×50キロという広大な砂漠地帯に五つの射撃区域、15の市街地訓練施設をもつ巨大な訓練場。中谷元・防衛相が「米軍の対抗部隊との間で、交戦訓

練シナリオも、「日本防衛」とはかけ離れていませ。設定では、仮想の国ア

トロピアにドノーピアが侵攻、米軍と自衛隊が反撃するという集団的自衛権行使のシナリオ。さらに、自衛隊は74式戦車や96式装甲車等を日本から運搬して投入しました。

「敵」と対決する課題が与えられました(米陸軍ニュース)。

米側幹部が「(日米が)統合任務部隊として活動する大変良い演習だった」と述べているように、陸自全体を米軍傘下に置く海外派兵仕様に作り変える動きが進んでいます。

「米側幹部が「(日米が)統合任務部隊として活動する大変良い演習だった」と述べているように、陸自全体を米軍傘下に置く海外派兵仕様に作り変える動きが進んでいます。」

一方、訓練相手となったのは米陸軍第3ストライカー戦闘旅団。同旅団は「96時間以内どこでも展開でき」(米陸軍)、イラク戦争・アフガニスタン戦争で中東派兵を何度も経験してきた部隊です。日本側から参加の陸自富士学校部隊訓練評価隊は、対抗訓練で全国の部隊のレベル向上を把握する部隊です。